

経営健全化方針に基づく取組状況（令和4年度）

○法人名

秋田栗駒リゾート株式会社

○経営健全化方針を策定した理由

- ・平成29年度決算において、債務超過額が22,434千円となり単年度赤字となったため、策定したもの。

○財政的リスクの状況

	平成29年度決算	令和4年度決算	目標達成年度 (令和5年度)
債務超過額（千円）	22,434	67,587	0

○主な取組状況（令和5年6月現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・人員不足の状況下で効率的な運営と売上を確保するため、夏期は客単価の高い栗駒山荘へ人員を集約させ、ホテルブランは基本的に日帰り入浴のみの縮小営業体制とする。
- ・東成瀬村が推進している「東成瀬村応援団」を自社HPやSNSで情報発信し、会員特典を活用した集客を図り、利用者増を目指す。
- ・原材料（燃料・電気・食材）等の値上げによる高騰が続いており、各施設の節電等を強化する。加えて、電力の契約会社を変更し電気料金を削減する。
- ・慢性的な人員不足の問題は、地域づくり協同組合や人材派遣会社を利用し、人員確保に努める。

【地方公共団体による財政的リスクへの対処のための対応】

- ・各施設の経営改善に向けた方策を法人と随時協議している。
- ・観光客誘客のため、村独自の宿泊助成事業や村応援団制度による各施設の利用料金割引などの側面的支援を実施し、売上高の増加につながった。
- ・コロナ禍における原油価格等高騰対策として、固定費（電気料、燃料費）への支援を行った。
- ・利用客の確保を図るため、経年劣化等著しい施設の大規模改修を実施している。

○法人の財務状況

（貸借対照表から）

（単位：千円）

	平成29年度決算	令和4年度決算
資産総額	58,931	63,131
（うち現預金）	39,713	52,390
（うち売上債権）	10,172	5,663
（うち棚卸資産）	5,134	3,087
負債総額	81,365	130,718
（うち当該地方公共団体からの借入金）	0	0
純資産総額	△ 22,434	△ 67,587

（損益計算書から）

	平成29年度決算	令和4年度決算
経常収益	356,770	379,893
経常費用	358,156	363,595
経常利益(損益)	△ 1,386	16,298
経常外利益(損益)	0	0
当期純利益(損益)	△ 1,590	16,094